

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	名古屋フィルハーモニー交響楽団

内容①	
短縮版ワークショップ（長時間1ヶ所に留めることが難しいと判断された場合を想定） ＜30分×2公演を実施＞	
1. 派遣メンバーの自己紹介とミニ・コンサート、オーケストラ講座	(15')
<ul style="list-style-type: none"> ・オーケストラで使われている楽器の特徴、歴史、成り立ちについての説明 ・オーケストラを構成する弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器ごとに、「名フィルのなかまたち」「名フィルを構成する楽器たち」の図を用いて説明 	
2. ボディ・パーカッション指導《アラゴネーズ》	(10')
<ul style="list-style-type: none"> ・実演（または音源）と一緒に、身体を動かして本公演の練習を行う 	
3. オーケストラ・プレイヤーへの質問等	(5')
<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの希望に応じて実施 	
★ワークショップと同時進行で、同行スタッフは担当の先生と打合せを実施	

タイムスケジュール（30分×2公演の場合）	
10:00～10:30	出演者・スタッフ会場入り → 楽器セッティング・準備
10:30～11:00	ワークショップ①（同時進行で本公演に向けての打ち合わせを実施）
11:00～11:15	児童・生徒入れ替え
11:15～11:45	ワークショップ②
11:45～12:15	撤収（午後にもワークショップがある場合は次の学校へ移動）
※状況に応じ変動する可能性があります	

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください		
演奏者：3～5名	スタッフ 1～2名	合計：5～7名

内容②	
教材送付ワークショップ（感染対策等の理由により事前WSができない場合を想定） ＜映像コンテンツを提供し、本公演までに授業等での鑑賞を依頼＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・併せて「名フィルのなかまたち」「名フィルを構成する楽器たち」の図をお送りします。 	

学校における事前指導

1. ボディ・パーカッション《アラゴネーズ》の指導

ワークショップまでにリズムを覚える必要はありません。「音楽を聴いて、身体に染み込ませる」こと、「リズムに乗って、楽しく身体を叩くことができる」ことを目標とし、授業等で指導を行ってください。

2. 本公演の予習

本公演で演奏する曲目について、いくつかの音源を用意しています。給食時間や放課後に音源 CD を流すなど、事前にお聴きいただくことでより理解が高まり、本公演時にオーケストラの音楽に素早く馴染めるはずです。

3. その他

事前指導ではありませんが、プロの演奏家たちが学校を訪問する貴重な機会です。日頃の部活・授業における楽器の練習方法や、音楽に関する疑問、音楽室にある楽器のメンテナンスなど、児童・生徒の皆さんのみならず、先生方もこの機会にぜひ質問を投げかけてください。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	名古屋フィルハーモニー交響楽団

演目	
【伝統ある日本の音楽で幕開け！】	
1. 外山雄三：管弦楽のためのラブソディより八木節	(3')
【オーケストラの楽器を日本の名曲にのせてご紹介】	
2. カジノユキ[編]：オーケストラで聴く日本の名曲『春夏秋冬』	(12')
【バリトン歌手の歌声で聴く日本の唱歌】	
3. 成田為三：浜辺の歌	(3')
【スペインのリズムを身体で感じよう】	
4. ビゼー：歌劇『カルメン』より 「前奏曲」、「アラゴネーズ」、「闘牛士の歌」、「ジプシーの踊り」 ※「アラゴネーズ」はボディ・パーカッション共演、「闘牛士の歌」はバリトン歌手による独唱	(14')
【サプライズ・アンコール！オーケストラと校歌を歌おう】	
5. 青谷良明編：各校校歌	(3')
※各学校の要望に合わせて変更する可能性があります	

タイムスケジュール (13:30/14:30 開演の場合)			
09:00～11:00	舞台スタッフ会場入り → 楽器搬入・セッティング	13:30～14:15	公演①
11:00～11:30	出演者会場入り	14:15～14:30	休憩、生徒入れ替え
12:00～12:30	ゲネプロ(直前練習)	14:30～15:15	公演②
12:30～13:30	昼食休憩	15:15～15:45	出演者撤収
		15:45～16:45	舞台スタッフ会場撤収
※開演時間により変動します			

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください			
指揮者:	1名	内訳	弦楽器／10型(1stVn10-2ndVn8-Va6-Vc5-Cb4)…33名 管・打楽器／Fl3-Ob2-Cl2-Fg2, Hr4-Tp3-Tb3-Tub1, Perc4, Hp1…25名
司会・ソリスト:	1名		
オーケストラ:	58名		
スタッフ:	7名		
合計:	66名		

実施校への協力依頼人員
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・生徒、保護者用の座席(パイプ椅子、ベンチシート等)を使用する場合、また床面保護のためシートによる養生等が必要な場合は、楽器搬入の前に設置をお願いします。 ・ ゲネプロ(直前練習)において編曲した校歌を演奏しますので、お立ち会いの上テンポのチェックをお願いします。

演目解説

■外山雄三：管弦楽のためのラプソディより八木節

かつて名古屋フィルの音楽監督でもあった外山雄三さんは、2021年に90歳を迎えた日本を代表する音楽家です。日本伝統の民謡が次々に登場するこの作品の中から、もっとも心揺さぶられる八木節をお届けします。

■カジノユキ[編]：オーケストラで聴く日本の名曲『春夏秋冬』

オーケストラを構成する各楽器を、日本の四季を代表する名曲「早春賦」、「われは海の子」、「紅葉」、「雪」のメロディに乗せて、メドレー形式でご紹介します。ナレーションも合わせて、目と耳の両方でお楽しみください。

■成田為三：浜辺の歌

林古溪が作詞した作曲用の歌詞に成田為三が曲をつけた《浜辺の歌》は、1916年に作曲されて以来、日本中で親しまれている愛唱歌です。日本人の心に染み入るような旋律を、バリトン独唱でお楽しみください。

■ビゼー：歌劇『カルメン』より

「前奏曲」、「アラゴネーズ」、「闘牛士の歌」、「ジプシーの踊り」

ビゼーが作曲したオペラ《カルメン》は、世界中から親しまれているオペラのひとつです。全4幕からなる《カルメン》を抜粋し、どこかで聴いたことある旋律や、バリトン歌手による勇ましい歌声を目と耳でご堪能ください。

また「アラゴネーズ」では、タンブリンなどの楽器に合わせてボディ・パーカッションを実施します。スペイン独特のリズムを身体で感じて、オーケストラと一緒に《カルメン》の世界を作り上げましょう！

■青谷良明編：各校校歌

アンコールに用意しているのは、その学校に通う児童・生徒なら誰もが知っている《校歌》です。前奏を聴いて「おおっ」となることは間違い無し、通常歌っているピアノ伴奏とはひと味もふた味も違う、ゴージャスな管弦楽伴奏版です！

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

全員を対象とした共演

《各校校歌》での合唱、《アラゴネーズ》でのボディ・パーカッションは、児童・生徒全員を対象に実施します。全員合唱では普段から歌い慣れている校歌が、オーケストラの伴奏によって劇的に変化する様子を体験し、歌う喜びを体感していただきます。

また《アラゴネーズ》でのボディ・パーカッション共演では、スペイン独特のリズムをオーケストラの演奏に合わせて叩きます。オーケストラとの一体感を感じていただき、音楽の醍醐味であるアンサンブルの楽しさを味わっていただきます。

児童生徒とのふれあい

ゲネプロ（直前練習）後の昼食休憩時間には、楽員が様々な質問を受け付けます。オーケストラのこと、楽器のこと、練習方法など、この機会に是非気軽に声をかけてください。また「お昼の校内放送」に指揮者やオーケストラの演奏者等が出演し、本公演への期待を高めるなど、各学校の希望を踏まえて実施します。